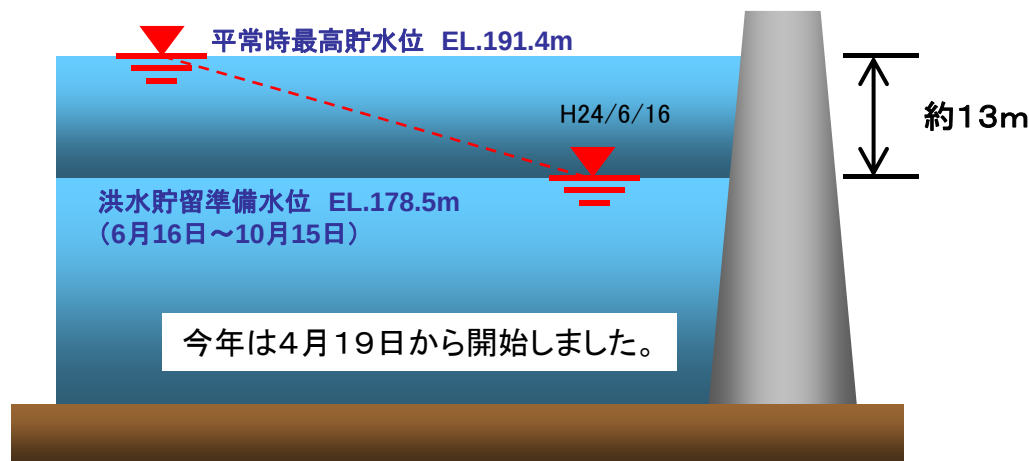


洪水期に向けてダム貯水位移行の実施

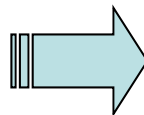
日吉ダムでは、洪水期（6月16日～10月15日）に備えて、「洪水貯留準備水位」までダムの貯水位を低下させていく操作（ドローダウン）を、今年は4月19日から始めました。

日吉ダムの場合、洪水期の大雨に備える準備として、洪水調節容量を4,200万 m^3 まで増やす必要があります（京セラドーム大阪約35杯分）。そのため、通常の放流量に毎秒約4 m^3 分を上乗せして放流し、徐々にダムの貯水位を低下させて、6月16日までに約13mも下げていきます。

この約2ヶ月間は、利水放流設備（分岐管や主管）を使ったダム放流を行います。普段はまとまった雨が降ったときなどしか見られなかったダム放流を、この期間を通して見る事が出来ます。



4月19日の日吉ダム貯水池状況



6月16日の日吉ダム貯水池状況(イメージ)